



日本プライマリ・ケア連合学会
九州ブロック支部 活動報告

発行人：支部長 秦 喜八郎
宮崎県医師会館

ニュースレター No. 6 (2016. 9)

今回のニュースレターでは、平成 28 年 6 月から 8 月における各県支部の活動を報告させていただきます。

【熊本県支部】

●熊本大学地域医療・総合診療実践学寄附講座からの提案で「熊本総合診療研究会」を 2016 年 4 月 1 日に立ち上げた。プライマリ・ケア連合学会熊本支部の役員も世話人や監事として参加している。総合診療専門医制度の開始、地域医療計画の策定、地域包括ケアの導入等、今後、熊本県でも、「総合診療」の活動の推進を求められる状況にある。「総合診療」を推進する学術的活動を組織的に行っていく必要があると考え、熊本大学と熊本県内の地域医療の現場で実質的に総合診療関連の活動をしているところが中心となり、熊本総合診療研究会を立ち上げ、5 月と 7 月に世話人会を行なった。発足記念講演会として英国家庭医療学会元会長 Roger Neighbour 先生を招いて「英国におけるプライマリ・ケアについて」の講演等を計画していたが、熊本地震で実行できなかった。

●P・C 連合学会熊本支部としては、2016 年 2 月に「熊本県医療・保健・福祉連合学会」の中でプライマリ・ケア部門の研究会を行った。この学会は熊本県医師会を始め多職種 22 団体が参加して 10 年前から開催しているが、2017 年 1 月に予定されている第 10 回大会実行委員会の中で内容を煮詰めていくこととしている。

【鹿児島県支部】

●鹿児島支部会は年一回の支部総会と講演会を行っている。鹿児島支部会は平成 23 年 11 月に設立され、平成 24 年 7 月に第一回目の鹿児島支部会第一回総会・講演会を開催して以来、第 4 回目となる総会を平成 27 年 6 月 6 日に開催した。総会前に世話人会が開かれ、次回、講演会の演者選出と座長を行う平成 28 年度の代表世話人を決定、役員役割分担や総会前の打ち合わせが行われた。その後 19 時から鹿児島県医師会館にて総会と講演会が行われた。講演会は 医療法人にのさかクリニック ニノ坂保喜先生に『いのちを受けとめる町づくり～在宅ホスピスのススメ』と題して御講演をうかがったが、ニノ坂保喜先生にはその日、総会開催前に、鹿児島支部会が共催する「学生向け総合セミナー」として『在宅ホスピスは途上国に学べ!』と題して御講演をお願いした。このように鹿児島支部会は総会開催前にプライマリ・ケア医を育成するために「学生向け総合セミナー」を共催している。「学生向け総合セミナー」演者はこれまで総会講演会の演者をお願いしている為、長時間の御講演になるのであるが、快くお引き受けいただき感謝している次第である。また、平成 28 年 3 月は、鹿児島支部の世話人である垂水医療センターの安部智先生を中心に行政の垂水市を巻き込んで行われた『みんなで支えるまちづくり in たるみず報告会』を共催した。

以上が最近の日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島支部会の活動状況である。
尚、上記活動の詳細は ホームページ：<http://pc-k.umin.jp/> をご参照下さい。

【沖縄県支部】

●会員動向
沖縄プライマリ・ケア研究会は平成 21 年 8 月 24 日に ML を立上げ、平成 22 年 10 月 1 日に HP (<http://naika.nakamoto-plan.com/~opcken/>) を開設。その HP から福井大学総合診療部で助教された許智栄 (ホ ジョン) (アドベンチストメディカルセンター 総合診療科) 先生が当会に平成 28 年 6 月 22 日に入会。これから共に沖縄の地域医療活動にご活躍いただけることを期待しています。

●日本プライマリ・ケア連合学会第 12 回九州支部総会・講習会 (H29/2/11-12) 準備会の進捗状況
平成 28 年正月から九州支部総会・講習会へ向けた準備会を立上げ、月 1 回開催し、7 回を数え、平成 28 年 8 月 28 日の九州各県支部長会でテーマ、プログラム内容等々をご承認いただく予定にしています。承認後には HP にて広報を致します。6~7 月の準備会では、武村克哉・本村和久・崎原永作・山入端浩之先生等の指導のもと学生企画 (Meet the Experts、プライマリ・ケアに対する学生の意識について討論) の 2 コマが決まりました。若手研修医 (専攻医) へのポートフォリオの指導、発表会も企画することになりました。